

「投稿案内」別刷料金規定の見直しのお知らせ

「天気」に掲載された記事の別刷は、希望に応じて表紙無し別刷30部を無料としてきました。これは、会員の皆様による貴重な著作物を、学会内外にアピールするためのコミュニケーションの一助として有効活用していただくためと理解しています。しかしながら、昨今の情報通信技術の発達に伴い、近頃ではメール等の電磁的手段によるコミュニケーションが主流となって参りました。「天気」も2002年からオンライン「天気」を構築し、PDF形式での記事の公開を行っています。加えて2019年からは、論文、短報、解説を学術電子ジャーナルプラットフォームJ-STAGEに登載し、「天気」掲載記事の被閲覧機会の拡大に努めているところです。これら情報インフラの発達により、調査研究情報の交換における紙媒体の別刷の役割はほぼ終わつたと思えられます。

このような、記事の閲覧に関わる近年の状況や、昨今の日本気象学会の厳しい財政状況も踏まえ、「天気」編集委員会にて別刷のあり方を再検討してきました。そして、別刷は必要とされる方に有償で提供することを原則としつつ、論文・短報・解説の記事において掲載料をお支払いいただく著者にはこれまで通り表紙無し別刷30部を希望に応じて無料で提供する、との方針を固め、第40期第13回理事会においてこの方針が承認されました。これに伴い、この1月号掲載の「投稿案内」の別刷料金規定を改訂いたします。新しい別刷料金の規定は、1月号発行後に受領した原稿から順次適用して参ります。

会員の皆様におかれましては、なにとぞご理解賜りますよう、よろしくお願い致します。